

- ※ 保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。  
感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぎ、子どもたちが一日快適に生活できるよう、環境を整えることが大切です。
- ※ 保育園児がよくかかる下記の感染症については、登園のめやすを参考に、かかりつけの医師の診断にしたがい、登園届の提出をお願いします。
- ※ 感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での保育園生活が可能な状態となつてからの登園であるようご配慮ください。
- ※ 登園の際には下記の登園届の提出をお願いします。  
登園のめやすは、子どもの全身状態が良好であることが基準となります。

## 登園届（保護者記入）

報徳保育園長 殿

児童氏名 \_\_\_\_\_

生年月日 \_\_\_\_\_

病 名 \_\_\_\_\_

医療機関名 \_\_\_\_\_において診断され、  
登園のめやすを参考に、症状が回復すれば、登園可能と診断されています。

年 月 日から症状も回復し、

集団生活に支障がない状態になりましたので登園いたします。

保護者氏名 \_\_\_\_\_ 印（サイン） \_\_\_\_\_

○医師の診断を受け、保護者が記入する登園届が必要な感染症（当園用）

病 名	感染しやすい期間	登園のめやす
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後 1 日間	抗菌薬内服後 24～48 時間経過していること
手足口病	手足や口腔内に水泡・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑（りんご病）	発しん出現前の 1 週間	全身状態がよいこと
ウイルス性胃腸炎 （ノロ、ロタ、アデノウイルス）	症状のある間と、症状消失後 1 週間 （量は減少していくが数週間はウイルスを排泄しているので注意が必要）	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間 （便の中に 1 ヶ月程度ウイルスを排泄している ので注意が必要）	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
帯状疱疹	呼吸器症状のある間	すべての発しんが痂皮化してから
突発性発しん	水泡を形成している間	解熱し機嫌がよく全身状態がよいこと
その他（※必要な場合）		

報 徳 保 育 園

Tel (098)886-8263